

ほなみ通信

第104号

2025年2月28日

社会福祉法人

坂井輪会

発行元 〒950-2035 新潟県新潟市西区新通4734 TEL 025-269-1600 FAX 025-269-1571

2月1日に開設15年目を迎えることができました。入居期間は半数の方が5年以上、一番長い方は13年暮らしておられます。記念行事としてお寿司バイキングを行い、鯛の解体ショーやカウスターでお寿司を召し上がり、ご家族やボランティアの方々とも笑顔溢れる交流会となり喜んでおられました。



特養 道場山穂波の里 開設記念祭



社会福祉法人 坂井輪会

ネパール研修報告

事務局長 古藤 悦子

日本の超高齢化社会に伴い、2025年には37・7万人の介護人材が不足すると言われていす。新潟市だけでも600人が不足と試算され、職員の採用は常に苦慮しています。

当法人も一昨年より外国人雇用に向けて受け入れ施設の見学会参加や、特定技能等の紹介会社や市内専門学校等に話を聞きながら検討していました。

そのようななか、新潟医療福祉カレッジの校長先生のお誘いで、昨年11月10日～16日に新潟県県議3名、専門学校校長・副校長、他法人事務局長や施設長の計15名で、2024ネパール使節団としてネパールを訪問してきました。ネパール人日本協会の財務局長をされている新潟市在住のスナル・ディパク氏も同行し、ネパール大臣やポカラ市長との面談にご尽力いただき、ネパール日本語学校の視察と現地面接会も行うことができました。



ネパールの文化や環境・生活習慣を私たちが学び、来日時に寄り添ってサポートするための訪問でもありました。ネパールは国境を中国とインドに挟まれ、ヒマラヤ山脈がそびえ立つ農業と観光業が中心の自然豊かな国です。発展途上国ということもあり、交通整備や水道・道路等のインフラ事業は日本と比較になりませんが、若者が多くとても活気に満ちていました。国の平均年齢は24・6歳（日本は48・3歳で世界1位）と若く、介護職を希望する主な日本語学生は、20代中心で結婚し子育てされている方もいました。面接では「生まれ育った国を離れ、日本で介護をしながら生計を立て、家族を養いたい」という言葉が聞かれ、意識の高さと共に失業率11%（日本2%）も高いことを学びました。

十数名と面接し2名を採用しました。今後、合格者は留学生として来日し、1年間の日本語学校と2年間の介護専門学校に通い、介護技術を学んでからの就職となります。先の長い話だからこそ早期取り組みが必要と判断しました。帰国後も今回の貴重な経験や県議・各施設との情報交換やご縁をこのままにしないよう、あらたな取り組みも検討され、今年の1月

重要なお知らせ

デイサービス道場山穂波の里休止・ショートステイ穂波の里特養転換

平素より当法人に格別なご高配を賜り、重ねて御礼申し上げます。「あんしんのよりどころ」「福祉のまちづくり」を法人理念に掲げ、地域の皆様より多くのご支援をいただき開設30年を迎えることができました。この度、皆様よりご厚情をいただき運営してまいりました左記の2事業につきまして、休止及び特養転換をすることになりましたのでご報告いたします。

デイサービスセンター道場山穂波の里 2011（平成23）年2月に開設し運営してまいりましたが、諸事情により今年3月末をもちまして事業を休止いたします。

ショートステイ穂波の里

1994（平成6）年4月に特養併設型20床として開設しました。2005（平成17）年1月に短期入所棟を増築し、ベッド数35床の単独型として運営してまいりました。地域の実情と今後の安定経営を鑑み、新潟市第9期介護保険事業計画にて公表されておりまして、特別養護老人ホームへの転

換を申請し新潟市より採択されました。4月より特別養護老人ホーム穂波の里に転換します。これによりベッド数は、80床↓115床に増床となります。

在宅生活を支援するサービス2事業を休止・転換することは心苦しい限りで、皆様にはご不便をおかけし誠に申し訳ありませんが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



馬主協会からの助成にて
食器洗浄機入れ替え

特養穂波の里 栄養課

昨年の12月初旬に約14年間使用した食器洗浄機の入替えが行われました。業務用食器洗浄機の耐用年数は、使い方や使用頻度によって異なりますがおおよそ8年から10年とことです。耐用年数どおり数年前から故障と修理を繰り返して使用してきましたが、ここ



1、2年はいつ動かなくなってもおかしくない程の状態でした。そんな不安要素のある洗浄機を委託給食のベネミール様は工夫しながら

ら使用して下さっていました。この度、馬主協会の補助金によって入れ替えて頂き、現在は故障する不安もなく安心して快適に稼動しております。

（管理栄養士 泉井）



デイサービスセンター穂波の里

皆さんで合唱♪



できたポップ焼きをカッティング



15日にはネパール使節団全員で花角県知事に表敬訪問し、ネパールでの活動報告や新潟県としての協力を全員で伝えました。介護職として来日しても新潟から関東圏に行ってしまうケースもあります。また、施設側が居住環境を整える費用負担もあり、県独自の支援体制の構築を施設側の要望としてお願いしました。



穂波の里での外国人雇用の取り組みは早くも次年度からになります。真面目で素直に仕事に取り組んでくれていると聞きます。目上の高齢者（利用者）を敬い、寄り添う気持ちはどの国であっても同じだと思います。お互いにより良いコミュニケーションと介護技術がしっかりと学べるよう、法人としても支援していきたいと思っています。

ツナゲアイプロジェクト ろうろくきんぐ体操参加者と交流

2月10日(月)大雪の影響が残る中、今年もツナゲアイプロジェクト(※)主催の「にいがた弁当」の販売、地域の高齢者と新潟大学の学生さんたちとの交流会が行われました。交流会には、地域包括支援センター坂井輪・五十嵐が共同で開催している「ろうろくきんぐん体操」に参加されている高齢者4名と新潟大学の学生さん8名が参加されました。

お弁当販売には15食の旧ろうろくきんぐプラザでの注文をいただきました。後日感想をお聞きすると今年も大変美味しかったとのことお返事でした。販売会終了後は、参加者全員で介護予防体操やカードゲーム(脳トレ)を行い「にいがた弁当」に舌鼓を打ちながらの交流会となりました。参加された4名の方々からは「若い方とお話ができて大変元気が出た」「来年もあれば参加したい」との感想をいただきました。(坂井輪圏域支え合いのしくみづくり推進員 細見)



とんどが自治会館をお借りし会場としています。

この度会場としてお借りすることができたのは坂井南が丘自治会館です。こちらの自治会ではこれまでの自治会館の土地を返却する必要がある、様々な困難を乗り越えて新たな自治会館を確保されたのです。坂井南が丘自治会では旧自治会館において老人クラブ等の活動が活発に行われており、新しい自治会館でも継続的に活動されているとお聞きしていました。しかしながら、新しい自治会館となった地域の近隣自治会では、自治会館を持たず、継続的な活動が

難しいのではないかと感じておりました。そのためひとその場所をお借りして、これまで身近な歩いて通える場所での活動に縁がなかった地域住民を対象に、体操を中心とした新たな集まりを始めたいと行動をおこしました。

そうは言っても、実際にどの位の方が参加してくださるかは始めてみないと分かりませんし、参加人数によっては会場費がまかなえるのかといった不安を抱えながらのスタートでした。これまでの経験から、必ずそういった場を必要とされている方はおられると信じ、期待しながら現在取り組んでいる最中です。

案内については坂井南が丘・上坂井・西坂井第2自治会の各会長宅に支え合いしくみづくり推進員と伺い、回覧のご協力をお願いし、快く応じていただきました。

初回の1月22日は17名の方が参加してくださいました。まずは冬期限定の3月までの10回を予定しており、参加状況や継続の意向の有無、体操の内容等を相談しながら、4月以降の活動について考えたいと思います。

関心のある方はどうぞ気軽にお問い合わせください。

包括坂井輪 269-11611



ケアハウス穂波の里

今年の節分は3年ぶりに鬼に豆をまいて鬼退治しました。最後に福の神も降臨し入居者の皆さんに小さな福を配っていただきました。



特養穂波の里
2025年 新年会

